



FCP Managerは、Apple Final Cut Proの環境設定を効率よく管理する為に開発されたプロフェッショナル向けのアプリケーションです。安定した設定をプリセットとして登録しておけば、Final Cut Proが不安定になった場合でもすぐに安定した設定に戻す事ができ、復旧の負担を大幅に低減します。また、デスクの設定やウィンドウの配置、ボタンバーやショートカットはまとめてプリセットに登録されるので、エディターや用途に応じたプリセットを作成することも可能です。Final Cut Proの膨大な設定項目を一括管理できる、それがFCP Managerです。

FCP Manager をオススメする 3つのポイント

1 ワンクリックで、 複雑な環境設定を一発保存！

用途別に設定を効率管理！

FCP Managerは、Final Cut Proのあらゆる設定項目を簡単なワンクリック操作で丸ごと記録しておく事ができます。たとえば、シーケンスの開始タイムコードや、テープに編集時のリーダーの設定、デスク毎のオフセット値やオーディオチャンネルの設定など、用途や制作環境に応じてプリセットを使い分ければ、普段の制作効率は格段にアップ。FCP Managerのプリセットは、タイトルや説明を付けて管理できるので、必要な情報を記載しておく事によって、より便利にお使い頂けます。

エディタ毎に設定を保存！Avidライクに設定管理。

FCP Managerは、Avidのようなユーザ毎の設定管理をFinal Cut Proシステムで可能にします。Mac OSをマルチユーザ環境で使用していない場合でも、エディタ毎にボタン配置やショートカット設定、お気に入りやウィンドウ配置の管理が可能になります。“登録者”を編集する事ができるので、どのエディタのプリセットなのか一目瞭然です。

2 トラブル時にも安心！ 安定した設定をバックアップ！

Final Cut Proシステムでは、環境設定が破損してしまったり、ユーザ自身が設定を変更してしまう事で、システム全体の動作が不安定になってしまう事があります。そんな時も、FCP Managerがあれば安心です。安定時の環境設定を保存しておけば、簡単に初期状態に復帰する事ができます。また、プリセットを誤って消去しないように保護することも可能です。

3 複数台での利用にも大活躍！

学校や大規模なスタジオなど、同等のシステムが複数ある場合、一台毎の環境を設定するのは面倒な作業です。そんな時は、設定済みのシステムから未設定のシステムに、FCP Managerフォルダを丸ごとコピーしましょう。FCP Managerのプリセットを複数のシステムで使用することができます。(同じ構成のシステムでのみ可能。また、コンピュータ1台につきライセンスの購入が必要です。)



マルチユーザ環境にもFCP Manager！

FCP Managerのプリセットは全てのアカウントから参照できるので、用途別に使ったり、管理者の設定を雛形にオリジナルのプリセットを作成したりする事ができます。アカウント毎に設定をイチから始める必要がないため、設定の統一にも大変便利です。また、他のアカウントで作成されたプリセットは消す事ができないので、安心してお使い頂けます。

FCP Managerコントロールパネル



FCP Manager

市場予想価格：8,500円程度

動作環境：

Final Cut Pro 5以降
Mac OS X 10.4以降
※Leopard対応

